



プレス発表

平成 22 年 10 月 28 日
独立行政法人 放射線医学総合研究所

放射線医学総合研究所のワークショップ
「放射線医学・安全研究分野の国際展開に向けて」
～NIRS-Workshop as an IAEA Collaborating Centre～
2010 年 11 月 11 日（木）アキバホール（東京）
12 日（金）放射線医学総合研究所（千葉）にて

【概要】

独立行政法人 放射線医学総合研究所（理事長：米倉義晴、以下、放医研）は、放射線医学・安全研究分野の国際展開に関するワークショップを 11 月 11 日に東京、12 日は千葉で開催します。

放医研は、2009 年 12 月に放射線生物影響、重粒子線治療、分子イメージングの 3 分野において、国際原子力機関（IAEA）から IAEA 協働センター※（Collaborating Centre）として指定されました。これらの分野について放医研が蓄積してきた知見を、IAEA 加盟国、特に、アジア各国の専門家と共有し、共同研究や人材育成を通じて放射線の医学利用の普及に貢献しています。

本ワークショップの 1 日目（11 月 11 日（木））は、アキバホール（東京）において、レシィ・チェム IAEA ヒューマン科学部長による講演も含め、上記 3 分野での放医研の取り組み、および IAEA 協働センターとしてのアジア各国への放医研の貢献について、一般向けに分かりやすく紹介します。なお、英語での講演についてもわかりやすく同時通訳されます。2 日目（12 日（金））は、主に専門家を対象とし、放医研（千葉）において、アジア各国の中核的研究者と共に、今後の人材育成などの活動方針について具体的な意見交換を行います（2 日目は英語による講演となりますが、同時通訳はございません）。

多数の皆様のご来場をお待ちしておりますので、奮ってご参加ください。

【講演会案内】

1) ワークショップタイトル :

『 放射線医学・安全研究分野の国際展開に向けて
—NIRS-Workshop as an IAEA Collaborating Centre— 』

2) 日 時 : 平成 22 年 11 月 11 日 (木) 12:45~16:20
平成 22 年 11 月 12 日 (金) 8:30~16:10

3) 場 所 : 11 日 (木) 東京・アキバホール 富士ソフト秋葉原ビル 5 階
12 日 (金) 放医研 推進棟大会議室 2 階

4) 講演会プログラム

<11月11日>

- 12:45~13:00 開会挨拶・趣旨説明／米倉義晴 (放医研 理事長)
- 13:00~13:20 来賓挨拶
- 13:20~13:50 放医研における放射線科学研究への取組み
辻井博彦 (放医研 理事)
- 13:50~14:20 「原子力の平和利用におけるIAEAの活動」
レシィ・チェム (IAEA ヒューマン科学部長)
- 14:40~15:10 「がん研究における分子イメージング」
藤林康久 (放医研 分子イメージング研究センター長)
- 15:10~15:40 「放射線がん治療—重粒子線治療—」
鎌田 正 (放医研 重粒子医科学センター長)
- 15:40~16:10 「放射線の人体への影響」
酒井一夫 (放医研 放射線防護研究センター長)
- 16:10~16:20 閉会挨拶／村田貴司 (放医研 理事)

<11月12日>

- 8:30~8:50 総論／レシィ・チェム (IAEA)
- 8:50~10:45 分子イメージング分野
座長 藤林康久 (放医研)
- 10:45~12:30 放射線生物影響分野
座長 酒井一夫 (放医研)
- 13:15~15:00 重粒子線治療分野
座長 鎌田 正 (放医研)
- 15:10~16:00 討論
- 16:00~16:10 閉会挨拶／レシィ・チェム (IAEA)

【参加登録および講演内容に関する問い合わせ先】

独立行政法人 放射線医学総合研究所 企画部

人材・育成交流課 川上利彦

(〒263-8555 千葉市稲毛区穴川 4-9-1)

※事前の参加登録をお願いします（参加は無料）

※添付資料のチラシを参照願います

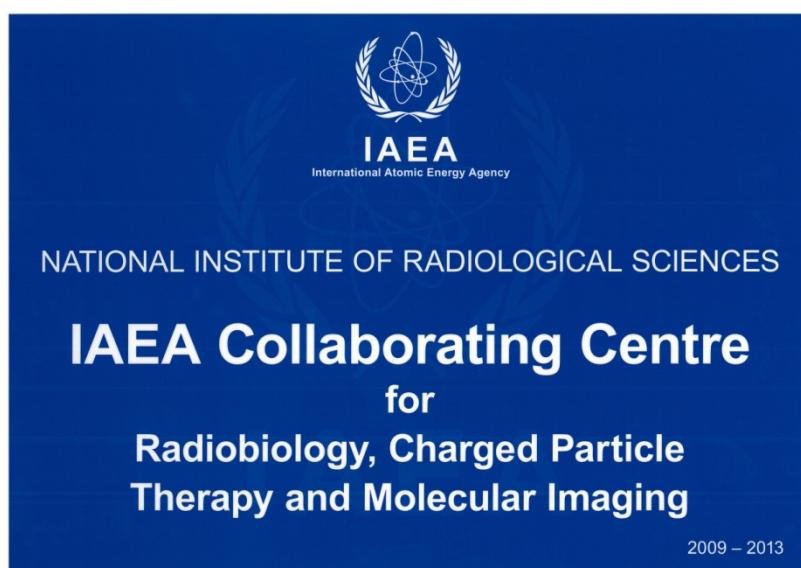
Tel : 043-206-3025

Fax : 043-206-4061

e-mail : kokusai@nirs.go.jp

※【参考】

IAEA の協働センター (Collaborating Centre) (IAEA-CC) とは、IAEA の事務局次長が指定し、原子力関連技術の研究、開発及び訓練を通じて IAEA が計画を遂行することを支援する施設と定義されています。放医研は、2009 年 12 月に放射線生物影響、分子イメージング、重粒子線治療の 3 研究分野で、IAEA-CC の指定を受けました。今後、4 年間で IAEA 加盟国の当該分野の研究者、医療従事者等に対して教育訓練などの活動を行う予定です。2010 年現在、IAEA-CC は世界 17 カ国 17 機関あるが、1 つの機関が複数の研究分野において IAEA-CC に指定されたのは放医研が世界で唯一です。



放医研に授与された I A E A 協働センターの指定プレート